



グランシップマガジン
[ジー] vol. 57
GRANSHIP magazine
Winter 2012



series わが羅針 第57回

デヴィッド・ビントレー

SPECIAL-2

大竹省二
愛しき人びと。

しずおかアーティスト・リレー ㊹

インテリアスタイリスト 作原 文子

次世代を創る顔

ヘッドドレス・アーティスト 深谷 桃子

村松友視の文化漫遊㊺

SPECIAL-1

2012年しずおか

連詩の会

「言葉の縫い針」の巻

coming soon I

グランシップ寄席

～江戸の人情・江戸の恋～

coming soon II

観阿弥生誕680年 世阿弥生誕650年

グランシップ伝統芸能シリーズ

「グランシップ静岡能」



headdress「本当にそう思ってるの」 Momoko Fukaya

headdress「sew I thought」
Momoko Fukaya



スタイリストのアシスタントとしてアイドルの衣裳制作に携わっていたとき、唯一自分にすべて任せられた領域がヘッドドレスだった。「日常的なものではないけど、着けるといい意味で阿呆っぽくなる。コケティッシュで可愛い。面白いなと思いました。」と同時に、これならアートとファッションが交差したところで自分の表現ができる。そう感じたという。

テーマは女性の内側にある“毒”のようなもの。「二見キラキラした少女の裏にずる賢さや我慢が潜んでいた。不意に嫌気がさしたり。女の子にしかわからない部分をあえて表に出したい」と語る。綺麗なものを作りたいと思わないし、作って終わりではつまらない。「人と交わることで初めて生まれる、そんな作品を作りたいと思っています。」



ふかや ももこ

藤枝明誠高等学校を経て、パンタンデザイン研究所ファッション学部スタイリスト科卒業。スタイリストのアシスタントとして、女性アイドルなどのステージ衣裳制作・スタイリングに携わる。その後、ヘッドドレス・アーティストとして独立。2012年、路地と人「sew I thought」（個展）、GALLERY SPEAK FOR「GIFT FOR CHOICES」（グループ展）を開催。4月、Aquvi Tokyoにてウィンドウディスプレイを手掛け、10月には渋谷西武にて期間限定ショップオープンのほか、表参道スパイラルにてアートフェア「ULTRA」に参加。新宿ルミネ「LUMINE meets ART」ギャラリーwaitingroomでも商品を展開。さらに11月、NEW CITY ART FAIR 台北にて作品を展示。ファッション雑誌で作品が扱われるほか、子ども向け、大人向けそれぞれのワークショップも開催。1984年焼津市生まれ。

ヘッドドレス・アーティスト

深谷 桃子

アートとファッションの真ん中で
女性ならではの毒を吐き出していきたい。

Contents

次代を創る顔⑤7 2

ヘッドドレス・アーティスト 深谷 桃子

しずおかアーティスト・リレー③9 3

インテリアスタイリスト 作原 文子

SPECIAL-1 特集 4

2012年しずおか 連詩の会 「言葉の縫い針」の巻

coming soon I 10

グランシップ寄席
～江戸の人情・江戸の恋～

series わが羅針 第57回 11

デヴィッド・ビントレー
「スティル・ライフ、スティル・アライヴ。」

SPECIAL-2 小特集 16

大竹省二 愛しき人びと。

coming soon II 20

グランシップ伝統芸能シリーズ
観阿弥生誕680年 世阿弥生誕650年
「グランシップ静岡能」

essay 村松友視の文化漫遊② 22

しよろしよと常は流るゝ大井川 画/風鈴丸

Love Granship その、愛すべき美空間 09 24

仰ぎ見る人々「仰天の景色。」

information a-go-go 26~30

- 公演情報
- Just Finished! / 「ヘルベルト・ブロムシュテット指揮/バンベルク交響楽団」
- プレゼント ●友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
- SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room



表紙アート●望月 通陽 作品タイトル:「静謐計」
静かな流れは深い、という。
したがって私の憧れる静かな生活、静かな交友、静かな仕事、そういったものは共に深い何かを抱えているにちがいない。
テーブルに静かにたたずむ小ビンにも深さはある。

協力:ギャラリー佐野

(2007年制作)

しずおか

39

アーティスト・リレー

インテリアスタイリスト
作原文子

今回
テキスタイルデザイナー
水田 祐史さん



mountain morning "khaki"

写真: 松原裕之 (Hiroyuki Matsubara)

2010年、個人的な思いでスタートしたプロジェクト「mountain morning」。日頃から親交のあるフォトグラファーやクリエイター、アーティスト、ショップなど、たくさんの方々のサポートで、オリジナルアイテムの制作や展示イベントを行っています。写真は今年の10月、渋谷・代官山T-SITEのギャラリーにて開催した様子。私が好きなカーキ色をテーマに掲げ、写真の展示、それに合わせた空間の構成、プロダクトの販売、朝ごはんイベント、ワークショップなどを行いました。

さくはら ふみこ ●インテリアスタイリスト。藤枝市出身。岩立通子氏に師事し、1996年独立。Casa BRUTUS、ELLE DECORなどのインテリア誌をはじめ、FIGARO japon、VOGUE JAPAN、HUGO、BRUTUS、MEN'S NON-NOなどの雑誌を中心に活動。その他、カタログ、広告、テレビCMでのスタイリング、最近では企画に基づくインスタレーションも増えている。

1/14 MON Alcott New year Festa

2013. 1/3 THU 4 FRI 5 SAT 6 SUN 12 SAT 14 MON

セント・オルコット ガーデン 2013新春 ブライダルフェア

1/3 THU・4 FRI 新春相談会
1/5 SAT・6 SUN・12 SAT Andrews Tour
1/14 MON Alcott New year Festa

邸宅 WEDDING
ST. ALCOTT GARDEN

セント・オルコット ガーデン
静岡県静岡市駿河区登呂5-19-38
http://st-alcott-garden.com

ご予約 Tel. 054-288-3388

詳しい情報、ブライダルフェアのご予約はホームページをご覧ください。 セント・オルコット ガーデン 検索



遙かな国より客人を迎えた今年。
言葉を縫い連ねる作業は、ついに最長不倒へ。

その日獲れたものを使って極上の二皿を仕上げる料理人のように、連詩ではその日その場で見聞きしたものの、感じたものを作品の中に織り込んでいく。天気や朝刊の記事、さらには登呂遺跡や清水次郎長、伊豆の踊子など、ご当地モノからの連想も、連詩の得意技だ。そして、そんな臨場感を共有できるのが「しずおか連詩の会」発表会である。

登壇したのは、今回参加の五名の詩人。初登場は、アメリカ人の翻訳家で二年前から日本語で詩作を始めたというジェフリー・アングルス氏。七度目の参加で今回もさばき手を務めた野村喜和夫氏は「日本語を空気のようになつて抜く我々にとつて、母語を未知の場に置く貴重な経験になつた」という。ほか三名は女性で、いずれも二度目の参加となる。自作の朗読、ステージや作詞家としても知られる覚和歌子氏、詩、小説、演劇と幅広く

二〇二二年しずおか

文芸に携わる
平田俊子氏、
四年前に史上
最年少で連詩
参加を果たし
た杉本真維子
氏。それぞれ

連詩の会

「言葉の縫い針」の巻

日本古来の神話や伝承、世界の文芸・史跡における造詣をしながらに発揮する女性詩人たちに、野村氏は「冗談で、ハーレム連詩」と呼んでいたけど、女性的なものが静岡の大地のようにたおやかにうねった作品になつたと思う」と語つた。昨年のスピード創作とはうって変わって、今年は予想以上の長丁場に。そのぶん、密度の濃い連詩が巻けたとのこと。作品解説とともに創作秘話を明かす発表会では、そうした濃密な現場の様子もうかがえた。



創作 二〇二二年十一月十五日(木)〜十七日(土) グランシップ十二階 特別室
発表 二〇二二年十一月十八日(日) グランシップ十一階 会議ホール・風

連

詩とは、連句や連歌の美学をベースにした創作現代詩で、本会を長年支えてきた大岡信氏は、その提唱者であり、第一人者。定まった形式はないが、本会では、五行と三行の詩を交互に繰り返すフォームをとっている。各詩にはさまざまな視点、モチーフが織り込まれ、別の詩人が後の詩を創作し繋いでいく。発表会では、作者による朗読のほか、繋がりを解くための解説が行われ、以下は、作品全編とその解説の一部である。



創作：グランシップ12階 特別室

陸の船で「二、三、四と数えながら詩を、言葉を縫いはじめる詩人たち。」

【第一番〜第五番の解説】

ジェフリー.. 第一番の指名にかなり不安な始まりで(笑)。前日、井上靖記念館で見たノートを思い出して書きました。万年筆のやわらかな字がまるで「糸」のようで。「大地」はグランシップの中ホールの名から。いい言葉だなと入れました。

喜和夫.. そういえば自分は一度もここを織り込んだことがない。情けないと思つての「ヒガシシズオカ」です。初日はちょうど休館日で「裏口」から入ったのは切なかったですね(笑)。

俊子.. ジェフリーに伝えて「糸」が入る漢字二つから始めました。「ヒトリシズカ」は「ヒガシシズオカ」の片仮名から浮かび上がった音に似ているところから。連詩は共同作業だけど、自分の番では一人静かに作るものですからね。

和歌子(わかこ).. 「ヒトリ」「荷」

「惨」「しらない」と数のボールが投げられたので「ごろつき」「仲間」「やじろべえ」「窮」と全力でキャッチ。野村さんの「海」に应えての「水平線」。「やじろべえ」は揺れ続ける私たちであり、そのバランスを取る野村さんでもあるんですね。

真維子.. 「ごろつき」から任侠、国定忠治の世界で「三角野郎」と。さらに「三角」という形から「スルメ」。連詩は対話であり、ある意味「喧嘩」でもあるのかなと思いました。

一 拾いなさい 万年筆を

手の中で縫針になるから

言葉という細い糸を

掛け合わせて引つ張れば

そのうち 大地を大空に結ぶ

ジェフリー

二 なんのための ヒガシシズオカの陸にそびえる大きな船

きょうは裏口から私たち

小さな想像の海を運び入れる

喜和夫

三 続けようと私たち

繋げようと私たち

ヒトリシズカに船尾に位置し

荷を運び 惨に到り

次にくるのは し・・・らない

俊子

四 ごろつき仲間が向かい合う

水平線のやじろべえ

広げた両手は窮した証拠

わかこ

五 その三角野郎はスルメでしようか

味がなくなるまで噛んでいる(噛まれている?)

始まったばかりの

おいしい喧嘩を気取るなら

次郎長にも負けないぜ!

真維子

六 母音が拐かされたら

残るのは独りで泣く子音のみ

成長して父音になるまで

ジェフリー

七 朝は四本足 昼間は二本足で歩き

夜には三本足になる動物はなーんだ

という問いに答えたばかりに

俺は地獄に堕ちたのさ いま思えば

謎は謎のままあの谷間に煌めかせておくべきだった

喜和夫

八 口車に乗せられたために

まつさかさまに転落しました

目車か鼻車ならまだよかったんだけど

俊子

「日本語が一度外で新鮮な空気を吸って、我々の元へ戻ってきたような……。ジェフリーのおかげです。」



野村 喜和夫

のむらきわお

詩人。早稲田大文学部卒。著作に詩集『特性のない陽のもとに』（歴程新鋭賞）、『風の配分』（高見順賞）、『ニューインスピレーション』（現代詩花椿賞）、評論『移動と律動と弦響と』（書肆山田）および『萩原朔太郎』（鮎川信夫賞）、訳書多数。英訳選詩集『Spectacle & Pigsty』（Omnidawn, 2011）では2012 Best Translated Book Award in Poetry (USA)を受賞。1951年埼玉県生まれ。

「前回苦しんだことを思い出しましたが、でも、終わるとまた楽しさだけが残るんですね。」



平田 俊子

ひらたとしこ

詩人、作家、劇作家。立命館大学卒。詩集に『ラッキョウの恩返し』、『(お)もろい夫婦』、『ターミナル』（晩翠賞）、『詩七日』（萩原朔太郎賞）、『宝物』など、小説に『ピアノ・サンド』、『二人乗り』（野間文芸新人賞）、『さよなら、日だまり』、『殴られた話』、『私の赤くて柔らかな部分』、『スロープ』など。戯曲集に『開運ラジオ』、エッセイ集に『きのこの雲』などがある。1955年、鳥根県生まれ。

「女三人。ドロドロしたら首まで浸かろうと覚悟していましたが、いい意味で女性らしさが爆発したんじゃないでしょうか。」



覚 和歌子

かくわかこ

詩人、作詞家。早稲田大文学部卒。SMAP、平原綾香などに多くの歌詞を提供。自作詩の朗読ステージを国内外で精力的に展開。「千と千尋の神隠し」主題歌『いつも何度でも』（作詞：日本レコード大賞、日本アカデミー賞主題歌賞ほか）、著作は詩集『ゼロになるからだ』、『海のような大人になる』をはじめ多数。映画『ヤーチャイカ』（共同監督 谷川俊太郎）の監督、舞台演出など活動は多彩。1961年山梨県生まれ。

九

凱旋パレードがけちらしていく文字と意味と音
まみれるがいいよ 泥に闇に生き物の滓に
ふきだまりにはいつも研がれるのを待つ玉
行き止まりには常世の国

翼をつけたひとびとが煮炊きをして暮らしている

十

かさかさとレジ袋を手を 石の時代の来客がベルを鳴らす
息をのんだのどに声が入って

私はあなたのかたしろになります

十一

同じところに傷を付けて同じところを奪われて
のびていく黒髪であなたの行く手をことほぎたい
ほら食欲が吠え出した
止まらずに走る河さながらに
こんな世の中に生き延びようと

十二

斃れた肉体から始まる赤い川
中断された生の形見のような川もある
声なき悲鳴を詩の耳は聞け

十三

ちがう ぼくたちヘモグロビンの群れは
部屋から廊下へ廊下から階段へ
みずから流れくんだり
さらに路上へ四つ辻へ
そこでキラキラ怒りの微粒となって散るため

十四

疑問の森で迷った私たちは 苦難に囲まれてもたじろがない
驚くべきは 私たちの中から流れてくる音楽
真黒な夜に羽根の生えた望みが飛び上がる速さ

十五

たとえば野曝しのベッドを突き破った
スプリングと
宇宙人の交信を見た朝は
割っても割っても
卵が器に届かない

十六

Meg made her dog and her frog dig up the egg of a big bad bird
But the wig wigged out and glided off her head and landed on the egg
In the back of a bog in the smog by a log
メグは犬とカエルに大馬鹿鳥の卵を掘らせた
メグのカツラは気がふれて すべって卵にのっかった
丸太の脇の水たまりのうしろ スモッグ注意報の日

わかこ

真維子

わかこ

俊子

喜和夫

ジェフリー

真維子

わかこ



早口言葉、掛け言葉。

言葉遊びから一転、エロスの座に。

【第十六番〜第二十番の解説】

和歌子（わかこ）…前の詩の「卵」は

いろんなイメージを触発してくれる言葉ですね。ジェフリーがここにいる意味、その楽しさを前に出したくて、彼と二人で作った早口ことばです。時間がかかってしまつて俊子さんに肩を叩かれました（笑）。

俊子…卵の「早口ことば」といえば生麦生米生卵。でも、卵が続いたので別の言葉にアレンジしました。「遅口ことば」「枕ことば」と続けて、最後は「寝言」。

喜和夫…恋の座、エロスの座は僕の役目みたいなところがありまして（笑）。「生臭坊主」と来たので、ここかなと。でも、この後、女性たちが僕の上を行くエロスを展開してくださいまして（笑）。
ジェフリー…そういう意味では私は野村さんを裏切つてしまいましたね。幸せの時間の後の孤独な時間。何も残つていない虚しいイメージです。ただ、真維子さんが「海藻」をベッドに残る陰毛と解釈してくださつたようで…。
真維子…いやいや、ジェフリーさんにそう説明していただいたんです！人間の一部を植物のように「植えて」育てる二連の動作が思い浮かんだの詩です。でも、なぜ「嗅いだ」んでしょうね（笑）。

十七

「生首生爪生臭坊主」
歩きながらつぶやく早口ことば
新幹線の中でつぶやく遅口ことば
ぬばたまの夜に欠かせぬソバ殻の枕ことば
眠つてつぶやくのは寝言

俊子

十八

餌苦巢多海！ 右からも左からも
熟れすぎた女のような
祈念の柔らかな岬にとりつかれて

喜和夫

十九

聖なる岬に
打ち寄せた波を
数えられる人はいない
荒磯に昇り また静かに引き
残されたのは石を抱く海藻のみ

ジェフリー

二十

その一本を摘んで嗅いで
わたくしの庭に植えておこう
いつか屋根まで育つ なつかしい裸体のために

真維子

二十一

モンゴルの博物館に展示された
毛深い生き物の一部
畏にかかった狼は
迂闊な前足を噛みちぎり
ひよこたんひよこたん大草原へ還る

俊子

二十二

痛かつたらう 寒かつたらう
清潔な あなたの靴をはいて
何千年も待つ というゆめさえも敵だ

真維子

二十三

ありがたや
きみの夢のなかに入れたぞ
というぬか喜び いつしか森に踏み迷い
さらにまちがった道を教えられて
以来ずつときみの夢の奥処に囚われのままだ

喜和夫

二十四

やつとの思いで発掘した古地図は
広げたとたんに霧と散つた
水滴のすき間を小さな龍が逃げていく

わかこ

二十五

うえにうえにと とんでいけ
ふしぎなかじつ なるくにへ
ひまがあつたら やれあそべ
ひをはきだして もちをやけ
ごちそうおえたら feel free to stay

ジェフリー

「不安なうえに第一番を任されて愕然。でも、日本語の面白さをより深く知ることができました。」



ジェフリー・アングルス
Jeffrey Angles

詩人、作家、翻訳家。オハイオ州立大学卒業。江戸川乱歩から現代詩人の高橋睦郎まで、近現代日本文学の英訳を多数手掛ける。翻訳は繊細かつ自在で、熱心なファンも多い。多田智満子訳詩集『Forest of Eyes』（カリフォルニア大学出版部）でDonald・キーン日本研究センターから日米友好基金翻訳賞を受賞。1971年アメリカ・オハイオ州生まれ。

「ふだん自分の中にはない言葉が出てくるのも連詩ならではの。前回よりもリラックスして臨めたかな、と思います。」



杉本 真維子
すぎもとまいこ

詩人。学習院大学卒業。2002年現代詩手帖賞。詩集に『点火期』、『袖口の動物』（H氏賞、信毎選賞）。日経新聞に『読書日記』を連載するなど、エッセイ、文芸批評も数多く執筆。近年は社会批評も手がけ、長篇論考『「孤独死」という言葉への批判』（東京新聞及び中日新聞掲載）が反響を呼ぶ。近刊に『現代詩文庫 杉本真維子詩集』。1973年長野県生まれ。

嵐の夜、長い時間の果てに見つけた砂金、五つのほっぺ。

【第三十六番〜第四十の解説】

俊子…前の詩を受けて、ここで何かを誕生させたくて「赤ん坊」と。それは連詩のことでもあります。「したしたした」は折口信夫の『死者の書』に出てくるんですけど、それにしても「這」という字は「言」に「え」なんて面白いですね。

二十六

誰か私の名前を呼んで
誰か私の名前を見つけて
「踊り子」の名はオードリーじゃないよ

俊子

二十七

じゃあ誰に呼ばれたいの？
手袋を買ってくれたお兄さん
やさしかったお姉さん
いいえ、みんなみんな昔のはなし
故郷けたした その遠いおもさしに幸せを

真維子

二十八

わが妹沙羅マリア沸き立つ
逆富士のように子宮を揺らしながら
わが妹ジュリアーナ星はるか沸き立つ

喜和夫

二十九

打ち込んでくれるなら花火だっていい
焼けたホトから生まれた神々
地上に放てばそれがあたしの役回り
見えない桜が吹雪いてる
やせたむくろを抱きしめるみたいに

わかこ

三十

武甕槌さま 陰に植えたる要石を捧げる
地の災い 水の災い 恋の煩いから
われらを守りたまへ

ジェフリー

三十一

56万カンデラで海原を照らす
レンガ造りの白き塔
灯台守りはもういないけれど
喜びや悲しみは
幾歳月も続く

俊子

三十二

いくら螺旋階段を下りても 幽霊は
DNAの曲線を辿りなおせないが いまでも
軀に隠っていた記憶は 微熱のように燃える

ジェフリー

三十三

熾き火をかき出すふしくれの指
1よりほかの数字は幻だ
水にも鳥にも持ち主はないから
この火も彗星の尾を継いだもの
もしかするとことばさえ

わかこ

三十四

それゆえに水の母のゆらぎがあり
かすかな鳥の洩れがあり
なかならず素数めく胎の子の影が遊んでいる。

喜和夫



発表：グランシップ 会議ホール・風



ジェフリー…『死者の書』は実は今ちょうど翻訳しているところなんです。「ひたひた」「したした」に「くたくた」と続けて。これは「赤ん坊」へのアドバイスみたいなもの。資料で見たい「蓬莱橋」は、いつかぜひ行ってみてください。

和歌子（わかこ）…連詩の流れの中でジェフリーと卓袱台返しをしたことを「戸板を返せば」と。「ひこうき雲」…時間をひっぱりたいという名残惜しい気持ちを男女の関係に転換しました。喜和夫…「三次元」に「時間」を加えると四次元になることから。折しもこの詩を作っている時、外は嵐で、窓に吹きつける雨粒が光に照らされ分散する様子は実にきれいでした。その窓に映っているのが我々の「顔顔…」。真維子…重い皿を回して「一粒」を見つめる砂金とりを連詩の作業と重ねて。寂しさもあるけれど、深いところで信じられる気持ちもある。だから、最後に喜びを書きたいと思いました。

*連詩の発表と解説の後には、来場者による詩人への質問の時間も。「今回、参加・創作にあたり、静岡県の歴史や伝承についてはどの程度ご存じでしたか」という質問には、覚氏が回答。「富士山に関連した日本書紀にまつわるものもあります。例えば二十九番目の詩では、コノハナサクヤヒメの神話中の出産の記述を下地にしています。とはいえ神話伝承といった知識の言語と、詩の言語とは位相が違うのも事実です。」

三十五

ひたり 後方歩行の 影法師がゆく
隧道ですがたを晦まし
彼らは

光の衣を編んでいた
そうやって人間になって出てくるという

真維子

三十六

霜月を過ぎれば師が走る月
ひたひたひた したしたした
赤ん坊は這い這いをするようになりました

俊子

三十七

蓬莱橋を渡るうち
くたくたになるだろう
籠を背負い直して
茶畑から目を上げるべき
先はまだ長い

ジェフリー

三十八

すんでのところで戸板を返せば別れ汚いあたしたち
誰でも知っているでしょう 途中がいちばんいい
ひこうき雲をひっぱって 切り裂いていく三次元

わかこ

三十九

そうして時間が加えられるとき
われわれは真に結ばれてあることを知る
カオカオカオカオカオ
ほら窓へ雨粒が嬉遊曲のように
ふり撒かれ輝いているよ

喜和夫

四十

重なっていく あの土肥の山で
一粒の砂金を見つけた子どものほつぺ
混沌の中から キララの詩を見つけた私達のほつぺ

真維子

創作 二〇三二年十一月十五日(木)起

於 グランシップ十二階 特別室
同月十七日(土)満尾

参加者 詩人 ジェフリー・アングルス

野村喜和夫
平田 俊子
覚 和歌子
杉本真維子

発表 二〇三二年十一月十八日(日)
於 グランシップ十二階 会議ホール・風

笑いあり、
涙あり、
さあ、よってらっしゃい、

春爛漫寄席。



春風亭小柳枝



古今亭菊之丞



桧山うめ吉

グランシップ寄席 江戸の人情・ 江戸の恋

平成二十五年三月十六日(土)

午後二時・六階交流ホール

【全席指定】一般 三〇〇〇円・学生 一〇〇〇円

グランシップ友の会先行予約日

十二月十六日(日)・十八日(火)

一般発売日 十二月二十三日(日)

春は出会いと別れの季節。

恋する女性と別れ、涙に暮れる御仁あり、
心躍る、ハッピーエンドの恋もある。

そんな恋話も落語の格好のネタになっちゃう。
ここでベテラン、いぶし銀の噺家をお招きし、
春うららの「恋」や江戸っ子の「粋」や「人情」など、
心温まる噺に耳を傾けてみようではありませんか。

迎えるは、端正な語り口で人情噺に定評のある古典落語の名手・春風亭小柳枝。

そして役者のような顔立ちと艶のある語りで

女性から絶大な人気を集めている若手実力派、古今亭菊之丞。

海外でも注目を集める俗曲の桧山うめ吉と色ものもあり。

静岡県内では出演の少ない実力派がグランシップに勢揃い。

ぜひ、足をお運びに。

桧山うめ吉(ひやまうめきち)

マルチに活躍する注目の俗曲師。幼少よりピアノとクラシックバレエを学ぶ。高校卒業後、国立劇場の寄席離子研修生となり、長唄のほか、清元・端唄・鳴物を学ぶ。卒業後、新宿末廣亭、浅草演芸ホールなどでプロのお離子として活動開始。2000年の寄席デビュー直後から、「ひざがわり」として出演し、若手俗曲師として注目を集める。また長唄・踊り・小唄も習得し、高座やお座敷で活躍するほか、自己のグループ「おもてと社中」ダンサー「ことぶきエンターズ」を率いてのコンサート、イベント等にも精力的に出演。全米ツアーやロックフェスティバル等にも出演し、俗曲師の枠を超えて幅広く活動をしている。

古今亭菊之丞(こんていきくのじょう)

若き古典落語の名手。その実力に加えて、役者のような端正な顔立ちと柔らかい物腰、独特の色気で、女性ファンをはじめ幅広い層の心をつかむ。幼い頃から寄席に通い、高校卒業後すぐに落語の世界に飛び込む。二つ目時代にNHK新人演芸大賞を受賞するなど、実力を伸ばし、異例の単独真打昇進を遂げた実力派。
昭和47年東京都出身。平成3年、二代目古今亭菊八入門。平成6年、二つ目昇進。平成15年、初代古今亭菊之丞として真打昇進。〔受賞歴〕平成10年北とびあ若手落語家競演会大賞。平成14年NHK新人演芸大賞。落語部門大賞。平成19・20年度と2年連続国立演芸場花形演芸会金賞。

春風亭小柳枝(しゅんぷうていりゅうし)

古典落語の名手として人気を得ている落語会の重鎮。端正な語り口・卓説した表現力と、芸の細やかさが光る心温まる人情噺は、特に落語通だけでなく落語家さえも唸らせる名人芸として称賛されている。数多くの寄席に出演しながらも、学校寄席や海外公演、ジャズとのコラボレーションなど精力的に活動する。
昭和11年東京都出身。昭和40年、四代目春風亭柳好入門。昭和43年9月二つ目に昇進。昭和53年、真打昇進。九代目春風亭小柳枝を襲名。〔受賞歴〕昭和51年度NHK新人落語コンクール優秀賞、平成3年度文化庁芸術祭賞。落語芸術協会理事。

デヴィッド・ビンレー

スティール・ライフ、スティール・アライヴ。

「『ペンギン・カフェ』では、世界の絶滅危惧種と一緒にいろんな様式のダンスも登場する。失いつつある個々の文化も見え隠れしているわけです。この世界で我々は何を失いつつあるのか、という部分がタイトルの『スティール・ライフ』にあるんです。」

バレエ団を生かし開花させる作品。

真面目で、シャイで、チャーミング。質問の一つ一つにまっすぐ答える氏の姿は、カーテンコールで居心地悪そうに肩をすばめて登場する氏の印象そのままだ。さて、氏の代表作『ペンギン・カフェ』が、来年、新国立劇場バレエ団とともに静岡にやってくるという。絶滅の危機に瀕した動物たちの愛らしくポップなダンス。世界中で愛され続けるビンレー・バレエは、静岡の人をも虜にするに違いない。

——新国立劇場の舞踊芸術監督に就任以来、ときにはトウシューズを履かないバレエなど、多彩なバレエを展開されていますが、この二年、どのような思いで臨んでこられた

のでしょうか。

「目に見えるカタチとしては、まず、レパートリーを変えていくということです。具体的には、私自身が振り付けた作品を持ち込むということ。そして、さらに私が尊敬してやまない振付家の、あるいは私が魅力的だと思ふ作品を取り入れるということですね。今、このカンパニーでもお金がないという厳しい現実がありますが、十分に費用をかけることができない中で、年間六演目、ベストのものをおとだけできたのではないかなと思っています。このカンパニーはもともとクラシック・バレエのバレエ団です。十九世紀バレエの伝統とそこに欠かせない非常に高度なテクニクを持っている。それが強みでもあるわけです。それらを生かしつつ、より発展させていくプログラムを心がけてきました。」

——当初、このバレエ団にはクラシック・バレエとコンテンポラリー・バレエをつなぐ、二十世紀のバレエが抜けているとおっしゃっていました。二十世紀バレエの魅力に触れた二年間でもあったと思います。

「バレエという芸術は、(その瞬間に切りとられて)美術館の中で収まっているものではなく、古典のバレエから脈々と受け継がれて、今、ここに至っているわけです。だから、真ん中が抜け落ちているというのはいりおかし。何よりも私は個人的に二十世紀のバレエが十九世紀以上に大好きなんです。二十世紀のバレエは、偉大な音楽と踊り、振付、さらには美術に至るまで、すべてが一体となった素晴らしい時代です。それを代表するのが

ディアギレフであり、彼の恩恵を受けた私の恩師ド・ヴァロア女史の存在ですね。」

——そんな二十世紀バレエも含め、バレエをバラエティ豊かに楽しむアイデアとして、トリプル・ビル(三本立て)を採用されていますが、

「新作には全幕物がほとんどないんです。なぜかという、これはとくに西欧の傾向ですが、全幕Ⅱ時代遅れという考え方があって、批評家達に叩かれることが多い。加えて全幕物は力量も経験も必要であり、さらに予算的なこともあり、振付家はなかなか手を出すことができないわけです。したがって新作のほとんどがショート・バレエなんです。その代わりに若い振付師にチャンスが与えられ、上演する場も多くなる。そうした流れができたのが二十世紀で、実はディアギレフも全幕バレエは『眠れる森の美女』だけなんです。また、別の視点から見ると、全幕物では普通プリンシパルは一人で、それをサポートする人という構成ですが、トリプル・ビルなら、三人のプリンシパルとそれを支える人というカタチですから、多くのダンサーにチャンスを与えられるわけです。」

——来春のグランシップでの公演は、残念ながらダブル・ビル(二本立て)ですが、まず、そのうちの一つ『シンフォニー・イン・C』の魅力を教えてください。

「これはバランシンの傑作であり、彼が尊敬してやまないプティパへのオマージュでもあります。まず、タイトルになっているビゼーの交響曲がいい。音楽的にもとても質の高い作品ですね。楽章ごとに男女のプリンシパル

が登場し、さらに次から次へとダンサーたちが現れる。レベルの高いコール・ド・バレエ(群舞)を必要とする、若さと喜びにあふれたエキサイティングな作品で、これを可能とするのもクラシックのテクニクと伝統をしつかり持ったこのカンパニーだからこそ。バレエ団の魅力が生かされ、開花するようなバレエです。」

——先ほど全幕物は古いというお話がありましたが、日本では依然として全幕物が人気です。ただ、この作品によって物語のない、



新国立劇場バレエ団「ペンギン・カフェ」 撮影：鹿摩隆司
氏の代表作『ペンギン・カフェ』がいよいよ2013年5月、地方での初公演を果たす。一世を風靡したペンギン・カフェ・オーケストラの音楽に乗って、自由で平和な理想郷、そして環境問題をテーマに動物マスクをつけたダンサー達が踊る。

いわゆるプロットレス・バレエ、ショート・バレエの楽しさを初めて知った方も多いのではないのでしょうか。

「断っておきますが、イギリスでも批評家以外、つまり観客は全幕物が好きで、『白鳥の湖』が大好きです(笑)。でも、年中『白鳥の湖』ばかりでは飽きるわけで、いろいろ言いながらも『カルミナ・ブラーナ』や『ペンギン・カフェ』を観ると、劇場の楽しさがあつた、満足した、と言ってくださる。観客は

実は鋭い眼を持っているんです。ただ、私がバーミンガム(ロイヤルバレエ)で常々言っているのは、全幕物であろつと、ミックス物であろつと、何よりも質が問われることだけは同じであると。質の高いダンスが存在する限りは、観客をエキサイトさせることができるということですね。」

ただカワイイだけじゃない。

——そして、もう一本が『ペンギン・カフェ』。バレエファンならずとも広く人気のある作品ですが、ご自身ではこの作品がなぜこんなにも世界中で愛されるとお考えですか。

「それはペンギンが出てくるからでしょう(笑)！ ちよつと奇抜で、ユーモアがあつて、そして、音楽が最高です。ただ、表面的にはカワイイけれど、底辺にはシリアスな問題(環境問題)が流れています。それについては(メッセージ)という言葉を使つていただいてもかまいませんが、制作当時は本当に未知数で、初演の日まで観客の反応がまったく読めない状態でした。とくに最後の場面、動物が単なる動物ではなかったというところですね。軽やかでエンターテインメント性に富んだ楽しい作品であると思つていたら、シマウマが撃たれて……と。ネタバレになるのこれ以上はお話ししません。ただカワイイだけじゃないところが支持されているのかなと思つています。」

——正確なタイトルは「スティル・ライフ・アット・ザ・ペンギン・カフェ」ですね。スティル・

かつてアメリカやドイツを回り、イメージネーションを広げたという氏。現在の日本での体験は、氏にどのような収穫をもたらしているのだろうか。「30年もの間、私の中で最終形に至らなかった『パゴダの王子』(2011年秋初演)が結実したのは、まさに日本における美術・文化の経験があればこそでしょう。けれども、日本での収穫について語るには時期尚早であって、それはずっと後になってわかるものなのかもしれないですね。」



【David Bintley】

バレエ振付家。10歳よりジャズ、タップなど、さまざまなダンスレッスンを受けるが、英国ロイヤルバレエ学校に入校後、バレエに専念。16歳で初めてバレエの振付を手掛ける。1976年サドラーズ・ウェルズ・バレエ(現バーミンガム・ロイヤルバレエ)に入団。アシュトン振付「ラ・フィユ・マル・ガルデ」のアランやシモーヌ、「真夏の夜の夢」のボトム、「シンデレラ」の意地悪な姉などを演じ、キャラクター・ダンサーとしての頭角を現わす。まもなくプロとして同バレエのために「アウトサイダー」を振り付け、86～93年はサドラーズ・ウェルズ・バレエ、英国ロイヤルバレエの振付家として活躍。93年、フリーランスになると同時に世界中のカンパニーから新制作依頼が殺到。95年以降はピーター・ライトの後を継いでバーミンガム・ロイヤルバレエの芸術監督に就任。05年「カルミナ・ブラーナ」、08年「アラジン」(ともに新国立劇場)を上演し、高い評価を獲得。新国立劇場舞踊芸術参与を経て、10年に新国立劇場舞踊芸術監督就任。2001年CBE(大英帝国勲章)受勲。1957年イギリス・ハダースフィールド生まれ。

ライフとは（静物画）のことですが、（なお続く命）という意味とも重なり、とても気になるところです。

「そこはまさにおっしゃるとおりで、この作品では絶滅危惧種と一緒に、いろんな様式のダンスも登場する。そこには失いつある個々の文化も見え隠れしているわけです。この世界で我々は何を失いつあるのかという、パフォーマンスの中にパフォーマンスがある。それが（スティルライフ）という部分なんです。」

——世界中の音楽をコレクションしたような、サイモン・ジェフスによる（ペンギン・カフェ・オーケストラ）の音楽も素敵です。

「一見お調子者っぽくて、エキセントリックなところがあるけれど、実はとてもシリアスであるという彼の個性を感じる音楽で、その魅力がそのまま本作の魅力につながっているところがあると思います。」

——『グラントウリーズ』でもモーツァルトから着想を得たことですが、音楽が創作の扉を開けることは多いのでしょうか。

「母はクラシック、とくにショパンを聴き、自分でも弾いていましたし、父はジャズ奏者でしたから、音楽はとても身近でした。自分は十一歳で初めてストラヴィンスキーの『ペトルーシカ』を聴いて魅せられて、バレエ音楽も好きでお小遣いの大半はレコード代に消えていましたよ。ただ、『ペンギン』の場合は、音楽はもちろんですが、ジャケットカバーに使われたエミリー・ヤングによるアートにも強く触発されました。」

——振付家としては、慎重にプロットを組み立てるほうですか。それとも稽古場で即興的に創りあげていくタイプなのでしょうか。

「私としてはラフなアイデアを頭に描いて、ダンサーと共に創りあげていくタイプです。頭の中で描いたものより、動きの中でできあがるもののほうがずっと面白い。実際、彼らは私自身よりも優れたダンサーですから（笑）。」

——なぜ、そのような質問をしたかというと、ループ的な音楽が用いられている『ペンギン』では、同じフレーズが何十小節も続いて、しかも複数のダンサーが別々の動きをしていて、振付家の頭の中は果たしてどうなっているのだろうと…（笑）。

「私自身、何回もわからなくなりました（笑）。例えばシマウマの場面ですね。シマウマの後ろにいる八名の女の子達は、入っても出てもそれぞれ違うので、スコア上で何ブロックかに分けて稽古しましたし、フィナーレはもつと難しかった。そこだけで一週間もかかりましたよ。」

——静岡の公演では、そんなご苦労をよそに楽しみたいと思います。最後に心待ちにしている静岡県のファンの方々にメッセージをお願いします。

「みなさんのシアターに行くことを心からわくわくしています。私がこのカンパニーとともに東京から出るのは、そうあることではないことですから、きつとエキサイティングな経験になるはず。みなさんもぜひご期待ください。」



2013.5/8^水 2/17(日)チケット発売 Bintleyのペンギン・カフェ

同時上演 バランシンのシンフォニー・イン・C

19:00開演 (18:30開場)

グランシップ 中ホール・大地

全席指定 S席 6,000円 A席 4,000円

学生・子ども 1,000円 (親子席あり)

※5/11(土)には、御殿場市民会館にて御殿場公演を実施

あなたの暮らしのいつもそばに。

貯金もローンもJAバンク。

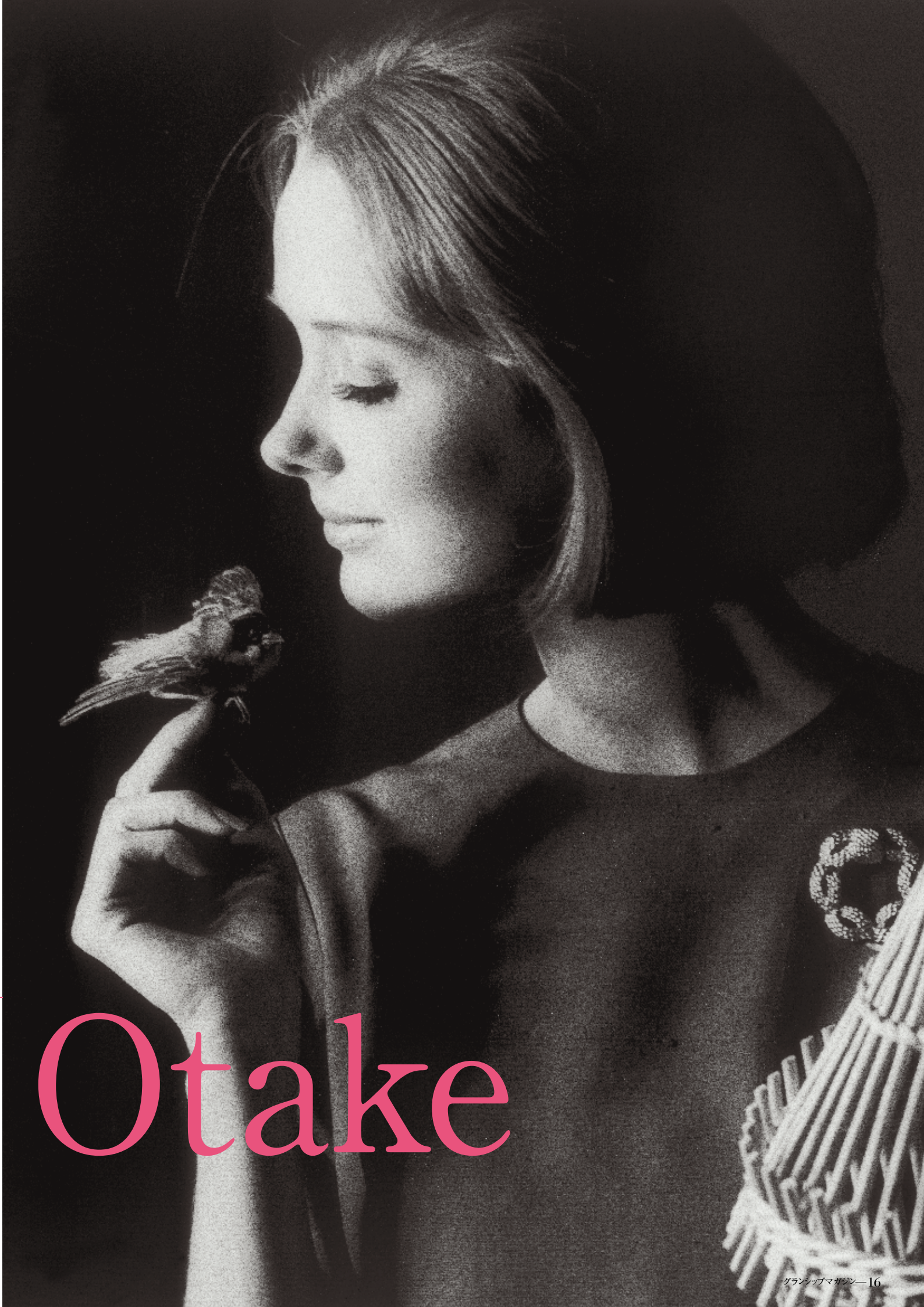


 **JAバンク 静岡**
県下JA・静岡県信連

<http://www.jabank-shizuoka.gr.jp> または、インターネットで「JAバンク静岡」を検索!

JAバンク静岡

検索



Otake

大竹省二 愛しき人びと。

戦後、萎縮した心を抱えるロスト・ジャパンの中、
笑わないことで有名な連合国軍最高司令官マッカーサーにカメラを向け、
「スマイル、ジェネラル!」と磊落に声を掛ける。
それもまた技術やセンスに並ぶ、彼のもう一つの才能だったに違いない。
鋭い観察眼と大陸的な構えの裏にある、育ちのよさゆえの闊達さ。
十年ほど前、本誌のインタビューでお会いしたとき、
その大写真家は、〈ヒューマン・インタレスト〉という言葉を用いて
人間らしさを撮る、その瞬間が一番面白いと語っていたが
それらを引き出す才能こそ、彼ならではの闊達さ、ヒューマニティではなかったか。
そして、今回の写真展はといえば、
実にヒューマン・インタレストにあふれたものであるとあっていい。
大竹省二をよく知る人も、そうでない人も
彼へのインタレストをMAXにぜひ、ご覧いただきたいものである。

大竹 省二

1920年静岡県小笠郡大須賀町(現掛川市)に生まれる。1940年伯父を頼って中国に渡航。1942年上海東亜同文書院在学中に応召。1944年北京日本大使館報道部付となる。1946年からGHQ(連合国総司令部)広報部嘱託として、来日する俳優らをアーニー・バイル劇場にて撮影。その後ライフ東京支社、INP(米国通信社)を経てフリーに。報道写真やポートレート、ヌード写真など幅広い分野で作品を発表。1992年日本写真家協会功労賞受賞。2007年放送作家 永六輔との共著『赤坂檜町テキサスハウス』でスポニチ文化芸術大賞優秀賞受賞。写真集に『世界の音楽家』『遥かなる詩』『照る日曇る日』『昭和群像』『女101人の肖像』『ファミリーヌード』『時代の顔』ほか多数。二科会写真部創立会員・理事長、日本写真家協会会員。

Shoji



フランス・パリ 1960年代前半



フランス・パリ郊外 1960年代前半



スペイン・ヘレス 1974年

「〈撮〉という字は、手で日を取る、と書く。
つまり撮ることは、自分の手で太陽をつかむこと。
それぐらい難しい、ということです。」

大竹省二の

自由。

芸術においてオリジナリティの追求は、究極の課題だ。「表現は自由だけど、自分の自由を強く押しつけ過ぎると、観る側の自由を奪ってしまいかねない。第三者の感性で評価されるものである以上、個性と普遍性のバランスは大事でしょう。それよりもさまざまなものに挑戦する、そういう意味での自由を大事にしたいよね。」

大竹省二の

未来完了。

たとえばお弁当を食べている写真よりも、今まさにお弁当の包みを広げようとしている写真のほうが伝わるものがある。「つまり現在完了よりも未来完了の写真のほうがイメージを増幅させる。創造性を含んだ写真であることが大事なんですよ。」

大竹省二の

最初のカメラ。

彼は自ら望んでカメラを手にしたのではなかった。虚弱体質で家の中ではかり遊ぶ大竹少年を見かねた父親が、外に連れ出す口実に買い与えたのが、彼にとつてのカメラ第1号。そのうちカメラに取り憑かれるようになるも、「写真家になるとは思わなかった」という。

大竹省二の

いじわる。

写真家の視線は、ともすればいじわるだ。有名なマリリン・モンローのくしゃみ写真は、その最たるもの。残念ながら掲載には至らなかったが「発表されずじまいでも、自分としてはオッケイ」という。相手が有名女優であろうと、市井の人であろうと、「ニュートラルなキモチで人間的な部分を引き出したい。それが被写体にとって歓迎されないことであつてもね。」

浦川歌舞伎保存会

名役者との縁が咲かせた
江戸歌舞伎、ここにあり。

地方巡業中の江戸の歌舞伎役者、四代目尾上栄三郎が病に倒れたのは信州の飯田。そこから彼は名医を頼って浦川の地にやってくる。村人の献身的な看護に一時は快方に向かうもやがて不治の病と悟り、今生の思いと村人への感謝を込めた舞台の上で彼は帰らぬ人となる…。

まるで一篇の物語のような縁だ。そして、村人はこの縁に応えるべく、歌舞伎上演の思いを募らせ、栄三郎の墓参に訪れた

歌舞伎役者の指導も受けながら、浦川歌舞伎を誕生させるのである。

各地に伝わる里歌舞伎の多くが農村歌舞伎であるのに対し、浦川歌舞伎が江戸歌舞伎であるのはこうした経緯ゆえだ。一度は途絶えたものの、一三〇年忌を機に保存会を結成。年一回の公演では本家江戸歌舞伎同様、男性が舞台を担い、「白浪五人男」は、毎度浦川小学校の生徒が務めるのが恒例だ。地元の人々が楽しみに出かけ、おひねりが舞う舞台。それはまさに栄三郎がこの地に残したかけがえのない遺産といえる。



うらかわかぶきぼぞんかい

- 団体名 / 浦川歌舞伎保存会
- ジャンル / 民俗芸能
- 会員数 / 40名
- 設立 / 1989年
- 代表者 / 廣野 勝也
- 活動拠点 / 浜松市天竜区
- 活動エリア / 旧浦川中学校体育館
- 実績 / 毎年1回(9月第4土曜日)、定期公演にて浦川歌舞伎を披露。平成11年度地域文化活動賞、平成17年度佐久間町長表彰、平成20年度浜松市地域文化賞受賞。



フランス・パリ 1961年

オリジナルプリント初公開。
大竹省二とともにモノクロームの小径へ。

「写真はフィルムに刻んだエッセイだと思う。」

2000年のグランシップでの写真展以来である。だが、今回の展覧会は、彼をよく知る人ほど、「おやつ」と思うに違いない。それもそのはず。多くが未発表の作品で、オリジナル・プリントの公開は初、なのだ。しかもオール・モノクローム。タイトルに(PASSAGE)とあるように、古きよき時代の小径に迷い込んだような、そんなエキジビションになるだろう。

以前、彼は言っていた。「昔撮った写真を見ると、その時代が甦る。人生を止めることはできないけれど、写真だけは人生を止めて眺めることができるのだ」と。彼がとらえた時代、切りとった瞬間に、心を照らし、自分なりの色を重ねて、その小径を歩いてみるの、いいかもしれない。

静岡県が誇る偉大なる写真家、大竹省二。その厚みのある足跡に今更ながら脱帽だ。

1/20(日)前売券発売

大竹省二写真展 Passage ~旅の行方~

2013年3月16日(土)~4月7日(日)

- 10:00~17:00(入場は16:30まで) ※3/16のみ18:00まで
- 6階 展示ギャラリー
- 入場料 500円(前売 450円)

*小学生以下と70才以上の方、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料。



誕生阿弥観

680年

グランシップ

静岡能

二〇一三年一月二十七日(日)

午後二時開演
中ホール・大地

全席指定／一般 五〇〇〇円 学生 一〇〇〇円

残席わずか

能楽の世界において、西暦で末尾に「三」のつく年は特別だ。

というのも、能を大成した観阿弥・世阿弥父子、

それぞれの生誕にまつわる年だからだ。

そう、つまり二〇一三年は、能のスペシャル・イヤー。

観阿弥生誕六八〇年、世阿弥生誕六五〇年とあつては

新春の吉例「グランシップ静岡能」への注目度も格別。

観阿弥が生涯最後の舞台をつとめた静岡で、グランシップで

父子を祖とする能楽最大流派、観世流渾身の舞台をぜひ。

演目

能

【俊寛】

山階彌右衛門

狂言

【船弁慶】

観世芳伸・藤波重彦

仕舞

【薩摩守】

野村又三郎

【砦】

関根祥六



誕生阿弥世 650年

源平尽くしの最後にふさわしく
名作中の名作を存分に。

ご存知のとおり、グランシップでは、今年度、六月の歌舞伎（俊寛）を皮切りに、九月の能楽入門公演で（清経）、十月の文楽では（義経千本桜）と、今年度は源平尽くしでおとどけてきた。その締めくくりが、このたびの「グランシップ静岡能」である。日本史上では短期間ながら、個性豊かな人物とエピソードが満載の源平時代。とくに「かなし」「はかなし」の物語が大好物の日本人にはたまらない時代だ。必然的にゆかりの作品、人気の演目も多く、グランシップ源平シリーズの大トリ、生誕記念イヤーの幕開けを飾る演目もまた、名作中の名作、能（俊寛）（船弁慶）と、狂言（薩摩守）である。

絶望と涙み、哀しみと荒ぶり。
見どころ満載の能二番、狂言一番。

（俊寛）は、平清盛殺害を企てた罪（鹿ヶ谷事件）で流刑された僧、俊寛の物語。孤島に残された俊寛の深い絶望感、能ならではの凄みが見どころで、俊寛専用の面も見だ。

一方、（船弁慶）は、源義経と静御前の哀しい別れを描いた前場に対して、後場は一転、船頭の奮闘や平知盛の霊と弁慶との対決など、荒ぶる場面で構成され、実に見どころ多彩な一番となっている。

さらに狂言（薩摩守）では、清盛の弟、忠度（ただのり）の名前が力ギとなる。渡し船の「タダ乗り」との掛詞を軸とした一騒動は、狂言らしい「おかしみ」がいっぱいだ。

いずれも、船「がらみの作品。ぜひ、グランシップという大船でお愉しみを。

狂言

薩摩守 さつまのかみ

住吉に参詣に向かう途中に茶屋に立ち寄った僧は、代金を払わずに立ち去ろうとし、亭主に咎められます。僧が無一文だと知り同情した亭主は、この先の神崎の渡しで船にただで乗る方法を教えるが…。

能

船弁慶 ふなべんけい

兄頼朝と不仲になった源義経は都を追われ、弁慶ら家来を伴い、大物浦に逃れる。恋人の静御前を連れているのは望ましくないと義経を説得した弁慶は、都に帰るように静を説得。別れの酒宴に静は舞い、悲しみにくれる。義経一行が海上に船を漕ぎだすと、風が一変し荒れ始めた海上に、壇ノ浦で滅んだ平家一門が浮かび上がる。長刀を手に麗いかかる平知盛の霊に、太刀を抜く義経。弁慶が呪文を唱えたとやがて霊は退散する。

能

俊寛 しゅんかん

平清盛の娘・徳子が懐妊し、安産祈願の恩赦が行われることに。鬼界ヶ島に流刑となっていた藤原成経と平康頼は、熊野三社に似せた社に詣でた帰り、同じく流刑者である俊寛が迎えに来て、水を酒と見立てて酌み交わす。そこへ都からの使いが来て、恩赦の書状を渡すが、そこに俊寛の名はない。せめて九州までとすがりつく俊寛をだが許されず、孤島に一人寂しく取り残されるのだった…。

東の芭蕉、西の鬼貫…と並び称された上嶋鬼貫は、一六六一年というから万治四年生まれの、江戸の大俳人だ。私は俳句にはまったく縁も知識もなく、句会の出席など思いもおよばぬタイプで、鬼貫といっても「行水の捨てどころなきむしのこゑ」の一句が頭に浮かぶくらいのものだ。

そんな私が、ひよんなことで鬼貫の俳句について…と言っても、猫を詠んだ句“…についてある雑誌に書くことになり、少しばかり資料に当たってみた。冒頭の万治四年生まれ云々としても、そのにわか勉強でかすめ取った知識であります。

さて、その鬼貫の句をしばしながめてみるうち、わが故郷である駿河とかかわる次の作品が目につき、俳句専門家とはまた別の心のよこばいをしてしまった。

しよろしよると常は流る、大井川

ここに出てくる大井川については二説ある、と解説書の註に出ていたことに引っかけたのがきっかけだった。その大井川は京の嵐山の下を流れる大堰川か、あるいは駿河、遠江の境

を流れる大井川か…そのどちらとも判別できぬといった感じが伝わってくる註の文章だった。

まずは、駿河の人ではなく摂津の人である鬼貫が「しよろしよ」という言葉を使っているのが興味深かった。私は、清水みなどで育った身の上だが、清水や静岡の大人たちに、

「おい、そんなところでシヨロシヨロしてんじゃないだよ」「シヨロシヨロしてるとおめえ、置いてかれちゃうだから」「いつまでシヨロシヨロしてるんだ」てなことを言われたことが何度もあった。何となくぐずぐずしているときに向けられるセリフなのだ。

そんな体験をかさねても自分の口から「シヨロシヨロ」が出ることはなかったが、いかにも駿河らしいけなしセリフという感じで耳に残っている。「シヨロシヨロ」は、東京や関西で使っても通じないだろうという、きわめてコアな静岡言葉であるはずだ。その「シヨロシヨロ」を大阪文化圏の摂津人が用いて、日照りつづきの日々の大井川の心もとない流れを描写して、東海道における箱根山と並ぶ大難所として音に

しよろしよると常は流るゝ大井川

聞く大井川の、川止めのさいの大激流とのコントラストを表現するなんざ、さすがだよね…と、私は鬼貫の表現力に舌を巻いた。水の少ない大井川を打ちながめれば、この「しよろしよ」が実に効いていることが実感できるはずなのだ。「大井川」は、やはり大堰川ではないだろう。

静岡には、「シヨロシヨロ」のほかにも「シラックラ」もあり、これまた「シラックラしてるじゃないだよ」などと使われたものだったが、今の若い静岡っ子には馴染みのない言葉だろう。それにしても、なつかしい「シヨロシヨロ」を、江戸時代の大俳人の句から思い出させてもらったわけであり、何が何処でどうつながっているのか、さても人の世はおもしろおかしいというわけであります。



【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。『時代屋の女房』で直木賞、『鎌倉のおばさん』で泉鏡花賞受賞。



海・山・大地の恵みが勢ぞろい おいしい! しずおかの博覧会

ふじのくに

農芸品フェア2013

FUJINOKUNI NOGEIHIN FAIR 2013

日時 **2/23(土) 24(日)** 会場 **グランシップ**
10時～17時(24日は16時まで)



さあ!
いらっしやい。



食べて、学んで、楽しむ2日間 **入場無料**



ふじのくに農芸品 販売コーナー



お茶、野菜、くだもの、花、魚や肉など、
農芸品が大集合。

ふじのくに食べつくし コーナー



大鍋、もちつき等、楽しい企画が
盛りだくさん。
農芸品を使ったご当地グルメ。

ステージイベント



K-MIX「WEEKENDヤッホー!!」
公開生放送(23日11時～12時55分)
などで農芸品を紹介。
大観覧大会(24日のみ)。

ふじのくに静岡が育む "和食文化体験&銘茶カフェ"



静岡の銘茶とスイーツセットをご用意。
100銘茶の楽しみ方講座、お菓子づくり体験、
「営富士」の地酒試飲等盛りだくさん。



農芸品博士 クイズ大会

農芸品についてのクイズ大会。
どなたでも参加可能。
豪華景品有り!(24日のみ)

ふじのくに農芸品とは

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾をはじめとする多様な風土と温暖な気候に恵まれた静岡県は、
多彩で質の高い農林水産物が生産され、これらを「ふじのくに農芸品」として紹介しています。

同時開催

食育フェアin中部

富士山の日
フェスタ2013 23日のみ



会場
静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ
JR東静岡駅南口に隣接
静岡鉄道 長沼駅より徒歩8分

主催
ふじのくに農芸品フェア実行委員会
静岡県、静岡県農業協同組合中央会、静岡県経済農業協同組合連合会、
社団法人静岡県茶業会議所、静岡県温室農業協同組合、静岡県椎茸産業振興協議会、
静岡県漁業協同組合連合会、静岡県水産加工業協同組合連合会

お問合わせ
事務局
(静岡県経済産業部農林業局みかん園芸課)
電話: 054-221-2732

ふじのくに農芸品フェア

検索



大ホール・海

Love Granship 09

その、愛すべき美空間



外観西側



11階会議ホール



大ホール 海



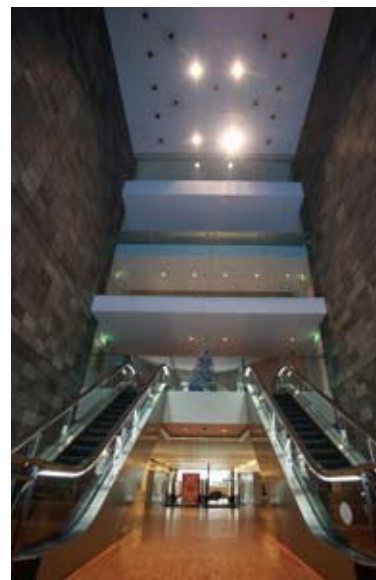
交流ホール

仰ぎ見る人々 仰天の景色。

グランシップの大ホール・海。そのフロアに立ち、天井を仰ぎ見た人は、大抵しばし口を開けるのを忘れてしまう。約58メートルという高さは、まさに「仰天」の景色だ。

天を仰ぐのは、なにも驚きのシーンばかりではない。決定的なチャンス、タイミングを逸したときも人は思わず途方にくれ、神に訴え祈るかのように天を仰ぐ。またあるときは日常の中、何気なく仰いだ空が心の句読点になることもある。ギリシャ語で人間のことを「アンソロポス」というが、そもそもは祈る存在、仰ぐ者という意味があるらしい。つまり、その先に癒しや救いがあるということこそを本能的に知っていて、あるいはそれを信じて天を仰ぐ、それが人間であるということか。

グランシップで仰ぎ見る景色が、果たしてあなたに何をもたらすのか、それは体験してお楽しみとして、視線を上方に向けること自体は、少なくともアンチエイジングにはよさそうだ。加齢で衰えた筋肉によって姿勢が悪くなると、視線はどうしても下を向く。逆に若さを保ちたいなら、日頃から視線を上げて歩く。これが基本中の基本らしい。



2階⇄3階エスカレーター

ご利用についてのご案内

[申込受付]

9:00～20:00 ※開館時間／9:00～22:00

[申込方法]

電話または当財団窓口、ホームページ(会議室/定員100人未満・練習室のみ)にてお申し込み下さい。なお、予約受付を開始する月のお申し込みについては事前に「抽選申し込み」を受け付けています。くわしくは右記あてにお問い合わせを。

お申し込み・お問い合わせ

TEL 054(203)5713 FAX 054(203)6710

財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課

〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 メールアドレス yoyaku@granship.or.jp

<http://www.granship.or.jp/>

**会議室(定員100人未満)・練習室の
インターネット予約が可能になりました!**

<https://www4.granship.or.jp/>

※利用時間／5:00～24:00

※利用にあたってはグランシップ利用サービス課
窓口での利用者登録が必須となります。

グランシップのスレート安全対策改修工事及び大規模修繕工事は、平成26年5月の連休明けから11月末まで予定されております。平成26年4月までの施設使用の受付はグランシップホームページをご覧ください。

公演情報

2012/12-2013/3

※12月現在の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。

入場無料 2/15(金)・3/3(日)

高松宮妃のおひなさま展



昨年度の様子

徳川慶喜公の孫・高松宮妃喜久子さまがご成婚の際にお持ちになった京雛を公開。会期中には稲取のつるり飾り製作や盤双六の体験コーナーも。

■10:00～17:00(入場は16:30まで)※会期中無休
 ■6階 展示ギャラリー ■入場無料

1/13(日)チケット発売開始 2/17(日)

魂の鼓動／ビートブリッジ ～神楽・パーカッション・アフリカン～

マリンバなどの打楽器とピアノを使ったパーカッショングループが奏でるビートやリズムと、島田市の笹間神楽がコラボレーション。ゲストのアフリカンパーカッションも加わり、多彩なリズムを楽しむコンサート。

■15:00～ ■6階 交流ホール
 ■全席自由 2,000円
 ※グランシップ友の会会員の皆様は、抽選で200名をご招待! 1/25(金)応募締切

1/20(日)チケット発売開始 3/3(日)

提携公演／静岡県現代舞踊協会 ～子供の為の舞踊公演～ ふじの国・世界の国



第1部では富士山・茶摘み・みかんの花咲く丘などを詩の朗読とともに現代アレンジの曲で披露。大人も子どもも楽しめるファンタジックダンスで構成した第3部も必見。

【出演】第1部「ふるさと」 第2部「雪童子」
 第3部「世界の国」
 ■15:30～ ■中ホール・大地
 ■全席自由 一般 2,000円 中学生以下 1,000円
 ■お問い合わせ先：静岡県現代舞踊協会
 TEL:0538-34-1607

チケット発売中 1/27(日)

グランシップ伝統芸能シリーズ 観阿弥生誕680年 世阿弥生誕650年 「グランシップ静岡能」

新春恒例の雅な舞台をお届け。能を大成した観阿弥・世阿弥父子の生誕記念の年である2013年は、観世流二十六世宗家観世清和氏の実弟・山階彌右衛門、観世芳伸両氏の公演で幕を上げる。【船弁慶】撮影：前島吉裕

「源平の争乱」をテーマにした演目は必見。
 【演目】能「俊寛」山階彌右衛門
 「船弁慶」観世芳伸、藤波重彦
 狂言「薩摩守」野村又三郎
 仕舞「站」関根祥六
 ■14:00～ ■中ホール・大地
 ■全席指定 一般 5,000円
 学生 1,000円 →P20～参照

チケット発売中 1/30(金)・31(土)

大植英次指揮 大阪フィルハーモニー交響楽団 中学生のための音楽会

静岡県内の中学生と一緒に本格的なオーケストラ演奏を楽しむことができるコンサート。手ごろな料金で1時間ほどのオーケストラ演奏を堪能できる贅沢な時間。販売枚数に限りがございますので、お求めは早めに。

【曲目】格林カ／歌劇「ルスランとリュディラ」序曲
 ショスタコーヴィチ／交響曲 第5番 二短調
 ■10:30～/13:30～ ■中ホール・大地
 ■全席指定 500円

入場無料／事前申込制 2/15(日)

静岡ルネッサンス 「子どもたちが伝える昔ばなし」発表会

東海道を通して東西の人々が行き交い、自然にも恵まれた静岡は民話・昔ばなしの宝庫。今回は掛川市・袋井市・森町の昔ばなしを地域の小学生が絵で表現!そこに音やセリフを加えデジタル化したものを上映。
 ■13:00～(12:30開場) ■6階 交流ホール
 ■入場無料(要事前申込) ※申込方法は左記参照

チケット発売中 12/22(土)

G(窓口のみの取扱い)・すみや(静岡本店プレイガイド)・音楽舎 提携公演／静岡県オペラ協会45周年記念公演 オペラ「ラ・ボエーム」



静岡県出身キャストと公募による合唱団による公演。ブッチェニに音楽の魔法をかけられ屈指の人気オペラとなった青春物語。

【出演】指揮 時任康文
 演出 今井伸昭
 管弦楽 静岡フィルハーモニー管弦楽団
 合唱 ラ・ボエーム県民合唱団
 ■15:00～ ■中ホール・大地
 ■S席 完売0円 A席 完売0円
 B席(自由席) 4,000円

入場無料 1/1(火・祝)

初日の出特別開放



過去の様子
 元日恒例!初日の出と富士山とともに、グランシップで迎える新年。甘酒、おしるこなどのサービスも。(なくなり次第終了)
 ■6:30～(有料駐車場6:15～) ■10階 展望ロビー

申込受付終了 1/11(土)

静岡ガSPRESENTS グランシップ&静響 ニューイヤーコンサート

毎年大好評の新春公演。名曲の美しい音色が彩る、新年にふさわしい極上の時間をあなたに。

【出演】
 スペシャルゲスト：中丸三千繪
 (ソプラノ)
 管弦楽：静岡交響楽団
 【昼の部】14:00～(13:30開場)
 【夜の部】19:00～(18:30開場)
 ■中ホール・大地
 ■全席指定 1,000円
 (申込受付終了)



中丸三千繪

「しずおかの文化新書」 関連企画

「しずおかの文化新書」編集長・八木洋行がコーディネーターを務める恒例企画。

講演会

「静岡が生んだもう一人の鏝絵名人 “静岡左官の土壌と森田鶴堂の芸術”」

伊豆の長八と“双壁”と称された森田鶴堂の芸術世界に迫ります。

■講師：安本 収

(郷土史研究家・元駿府博物館学芸部長)

■日時：1月19日(土)14:00～

■全席自由 700円 ※事前申込制

「富士山の花と緑を探る ～富士山の植生と植物の世界～」

高低差のある富士山で生きている植物の垂直分布について解説します。

■講師：菅原久夫(富士山自然誌研究会会長)

■日時：2月17日(日)14:00～

■全席自由 700円 ※事前申込制

体感ツアー

コーディネーター：八木洋行

「鏝絵名人・森田鶴堂 秘蔵品拝観ウォーキング」

■日時：1月20日(日)10:00～

■旅行代金：500円※事前申込制(定員50名)

■お申し込み先：近畿日本ツーリスト(株)静岡支店

TEL:054-254-4646

(月～金9:00～17:45、土・日・祝定休)

「地震・津波関連企画」(仮)

■日時：3月23日(土)9:00～

※要事前申込(定員40名)

※詳細、申込方法は後日ホームページ等にて発表します。

静岡の魅力 第7回 フォトコンテスト 作品募集!

「静岡の魅力部門」と「自由・アート部門」の作品を募集。

【賞金】最優秀賞(県知事賞) 50万円

部門大賞 30万円 など

【審査員】大竹省二、蜂須賀秀紀、沼田早苗

織作峰子、山本晋也、徳川慶朝

天野一、田村孝子

※詳しくはホームページをご覧ください。

「しずおかの文化講演会」「子どもたちが伝える昔ばなし」の申込方法

電話・FAX・E-mailにて、下記宛申込を。FAX・E-mailの場合は参加希望のイベント名・住所・氏名・電話番号・参加人数を明記のこと。グランシップ○○係(希望するイベントいずれか明記)。※定員に達し次第、締切。

TEL:054-289-9000 FAX:054-203-5716 E-mail:info@granship.or.jp



12/18(火)チケット発売開始

3/17[㊞]

G

提携公演／琉神

チカラ2013 静岡本公演



沖縄の新しいエンターテインメント集団「琉神」が、魂を揺さぶる躍動感とユーモアあふれる舞台を披露!大迫力の展開が、生きるチカラを呼び起こす。

【出演】琉神、古謝美佐子 他

■14:30～ ■中ホール・大地

■全席指定 一般 3,500円 高校生以下 1,500円

■お問い合わせ先：琉神事務局 TEL:054-291-5778



1/20(日)チケット発売開始

3/31[㊞]

G

特命戦隊ゴーバスターズ ファイナルライブツアー2013



©2012テレビ朝日・東映AG・東映

大人気の「特命戦隊ゴーバスターズ」(朝日テレビ系列で毎週日曜に放送中)の本格アクションステージ。春休み最後の思い出は、ご家族みんなでゴーバスターズに会いに行こう!

■10:00～/13:00～/16:00～

■大ホール・海

■全席指定 S席 3,800円 A席 2,800円

※3歳以上有料、2歳以下膝上観賞無料



入場無料

3/10[㊞]

第26回地域文化活動賞表彰式



昨年度の様子

県内各地で優れた文化活動を行っている団体を表彰。

■13:30～ ■11階 会議ホール・風

※関連イベントも開催予定

詳細、申込方法は後日ホームページ等にて発表します。



12/23(日)チケット発売開始

3/16[㊞]

G

グランシップ寄席

～江戸の人情・江戸の恋～



春風亭小柳枝

古今亭菊之丞

松山うめ吉

寄席の雰囲気あふれる舞台で若手実力派や重鎮が「粋」や「恋」など心あたたまる人情噺を披露。限定300席の贅沢な空間を堪能しよう。

【出演】春風亭小柳枝(落語)、古今亭菊之丞(落語)

松山うめ吉(俗曲)

■14:00～ ■6階 交流ホール

■全席指定 一般 3,000円

学生 1,000円

→P10参照



1/20(日)前売券発売開始

3/16[㊞]・4/7[㊞]

G

大竹省二写真展 Passage ～旅の行方～

日本の戦後写真史に数多くの実績を残した大竹省二の写真展。海外で撮影したスナップを中心に約100点の作品を展示。まるで映画のワンシーンに入り込んだような気持ちに!

■10:00～17:00

(入場は16:30まで)

■6階 展示ギャラリー

■入場料 一般 500円(前売 450円)

※大学生以下、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者福祉手帳をお持ちの方無料 →P16～参照



JUST FINISHED!



4.NOVEMBER.2012

『ヘルベルト・ブロムシュテット指揮バンベルク交響楽団』

終演後、中ホール・大地の楽屋にて。
ブロムシュテット氏と川勝平太・静岡県知事夫妻と田村孝子館長

(撮影:グランシップ撮影サポーター 孫田 仁)

読者 Presents

サイン入り公演プログラム&詩集プレゼント!



11月4日(日)に開催した「ヘルベルト・ブロムシュテット指揮バンベルク交響楽団」ヘルベルト・ブロムシュテット直筆サイン入り公演パンフレットを2名様に、11月18日(日)に開催した「2012年しずおか連詩の会」に参加した詩人 覚和歌子氏の直筆サイン入り詩集を1名様にプレゼント。添付のハガキに住所、氏名、電話番号およびプレゼント名を明記の上、下記あてに郵送を。(平成25年2月末日消印有効)なお、当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係
TEL054-203-5714 ※30ページのハガキをご利用下さい。

MEMBERS 「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費(個人会員の初年度年会費は入会月により異なります。)

- ◆個人会員 年会費 2,000円 ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

(チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master他提携カードの利用可)

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局
〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階
TEL.054(203)5714 FAX.054(203)5716

■特典

- ◆チケット10%割引 ◆チケット先行予約
- ◆公演情報誌送付 ◆提携店割引
- ◆情報誌上、グランシップホームページ及び
グランシップ館内に社名掲載(法人会員特典)

〈友の会法人会員〉

静岡ガス(株)、(株)タミヤ、鈴木(株)、(株)静岡新聞社、静岡放送(株)、(株)劇団ひまわり、(株)ステージループ、静岡県ビルメンテナンス協同組合、静岡信用金庫、(株)ビーエーシー、(株)テレビ静岡、(株)静岡第一テレビ、(株)ココ・コーラ セントラル ジャパン(株)、(株)ダイドードリンコ(株)、(株)イノエテック、(株)伊藤園、静岡エフエム放送(株)、(株)ニッセー日本平ホテル、(株)コアス、公立大学法人静岡文化芸術大学、(株)静岡朝日テレビ、(株)天神屋、(株)望月商事、学校法人常葉学園、羽野水産(株)、丸茂電機(株)、(株)創研社、東京企画装飾(株)静岡支店、(株)ニッセイコム

財団法人 静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4(グランシップ内) TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

日韓共同制作作品



小さな無人島に流れ着いたふたりのおとこ
—ひとり日本人、もうひとり韓国人—

言葉も、文化も違うふたりの男が、心をひとつに通わせていく。
笑いと、涙と、そして感動の舞台!
韓国演劇界の巨匠イ・ユンテク演出、SPAC俳優出演による日韓共同制作作品。

1/19(土)・20(日)・26(土)・27(日)

各土曜日16時開演、日曜日14時開演
静岡芸術劇場(JR東静岡駅前グランシップ内)

上演時間:75分(予定)

一般1公演 4,000円

- ペア割引/ペアチケット(2枚) 7,000円
- 学 割/大学生・専門学校生 2,000円
- 高校生以下 1,000円

■おやこモニターチケット

(一般公演のみ 各回限定25組 要予約)
大人1名様(学割を除く券種)・子ども(高校生以下)1名様
でご来場なら、子ども1名様は無料!

※観劇後、簡単なアンケートにお答えいただけます。
※大人1名様、子ども2名様以上の場合は、子ども1名様のみ無料となります。

中高生鑑賞事業

SPACでは平日に静岡県の中高生のための公演を行っています。一般のお客様もご観覧いただけます。
(限定数販売/詳細はお問合せください。)
2013年1月15日～3月12日

すてきな
名前をつけて
ください!

中高生鑑賞事業愛称募集!
詳細はSPAC公式サイトをご覧ください。

演出:イ・ユンテク

出演:仲谷智邦、三島景太

作:ニーノ・ディントローナ

ジャコモ・ラビッキオ

台本:ふじたあさや

〈SPACの会〉

新規入会キャンペーン!

2013年度〈SPACの会〉に新規ご入会の方に限り、『ロビンソンとクルーソー』の公演に1名様をご招待いたします。(詳細はSPAC公式サイトへ)

15th Anniversary

SPAC
SHIZUOKA PERFORMING ARTS CENTER

芸術総監督 宮城聡

静岡県舞台芸術センター

チケットをご購入の際はSPACチケットセンターまで TEL.054-202-3399 (10:00~18:00)

@_SPAC_(SPACツイッター公式アカウント)

Facebook公式ページ <http://www.facebook.com/SPACshizuoka>

SPAC公式サイト <http://www.spac.or.jp>

SPAC

検索

TOPIC-1

ベートーヴェンの旋律が観客を魅了! 感動と興奮のひととき



11/4(日)、N響名誉指揮者ヘルベルト・ブロムシュテット率いるバンベルク交響楽団のコンサートが開催された。オールベートーヴェンのプログラムはチケットが早々に完売する人気。85歳を迎えたマエストロは年齢を感じさせない佇まいで観客を魅了した。演奏後には「ブラボー」があちこちから聞こえるなど、素晴らしい演奏に客席も終始興奮の様子。小学生から往年のクラシックファンまで幅広い年代がオーケストラによる贅沢なひとときを堪能した。

TOPIC-2

連詩作りに挑戦!
言葉のおもしろさを体感

9/20(木)浜松市立積志小学校、11/1(木)沼津市立第二小学校、11/6(火)富士宮市立東小学校で「連詩を作ろうワークショップ」が開催された。11/18(日)の「しずおか連詩の会」に参加した詩人が小学校に出向き、子どもたちと一緒に連詩を創作。日本語のおもしろさや奥深さを体感し、最後には作った連詩にメロディを付けて発表した。第一線で活躍している詩人との創作活動に、子どもたちも終始夢中になって取り組んでいた。

TOPIC-3

触れて楽しむ体験コーナーも!
「グランシップ静岡能 能楽入門公演」

9/23(日)、13回目となる「グランシップ静岡能 能楽入門公演」が開催された。今回も、一般公募で集まった小学生から大学生が約3ヶ月のお稽古で習得した謡や仕舞を披露。後半では観世流能楽師によるダイジェスト能「清経」が上演された。上演中の分かりやすい解説付きで、能楽初心者も伝統芸能の魅力に夢中。ロビーでは能面体験コーナーもあり、子どもから大人まで興味深そうに手にしていた。

TOPIC-4

県内で文楽を鑑賞できる唯一の
チャンス「人形浄瑠璃 文楽」開催

10/14(日)、昼の部・夜の部2公演で「人形浄瑠璃 文楽」が開催された。ロビーでは人形がお客様をお出迎え。大勢の和服姿のお客様が来場し、会場は華やかな雰囲気になった。舞台では太夫、三味線、人形遣いの三業に感嘆の声が漏れたほか、昼の部と夜の部の間には「わかる!文楽入門講座」を実施。本番に出演している太夫、三味線が登場し、その役割や道具について解説をした。

TOPIC-5

日頃の練習成果を堂々と発揮!
「ふじのくに芸術祭」合唱コンクール

11/25(日)、「ふじのくに芸術祭」の合唱コンクールが行われた。一般の部、アンサンブルの部、ジュニアの部から39団体約900名の出場があり、日頃の練習の成果を披露した。一般の部で出場した「YMC和田」が芸術祭賞を獲得し、その他入賞した4団体ともに12/23(日)午後2時開演、静岡県立美術館講堂で行われるグランドフィナーレ(受賞式)に出席する。

TOPIC-6

芸術の秋を彩る作品が勢ぞろい。
「ふじのくに芸術祭」写真展を開催!

10/28(日)～11/5(月)まで「ふじのくに芸術祭」の写真展が開催され、1,170人が来場した。美しい風景や人物の豊かな表情、日常生活の何気ないコマなど、作者の感性が光る作品61点を展示。静岡県芸術祭賞には、鈴木義二さん(静岡市)の「日輪昇陽」が選ばれ、富士山と太陽光が美しく調和した作品に多くの人が見入っていた。

TOPIC-7

あなたの声をグランシップに。
平成25年度モニター募集中

静岡県民の方から幅広くグランシップ主催事業に対する意見・感想を聴き、今後の運営・企画等に役立てるため、グランシップモニターを募集しています。

【応募方法】所定の申込用紙(グランシップHPからダウンロード可)、もしくは自由書式に郵便番号・住所・氏名・電話番号・性別・年齢のほか、グランシップ主催事業に対する意見・感想等を400字程度にまとめて持参・郵送・FAX・E-MAILのいずれかにて応募。3/15(金)締切(必着)

【資格】静岡県内在住・通勤の18歳以上の方

【期間】平成25年4月～平成26年3月まで

【活動内容】年間4回程度の意見交換会への出席(グランシップにて開催)、グランシップ主催事業を鑑賞しての感想・意見をアンケートにて提出(随時)

【応募・問合せ】〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4
グランシップ「モニター」係 FAX.054-203-5716

E-MAIL:info@granship.or.jp

GRANSHIP
SHOW-WINDOW ALBUM

「グランシップアートコンペ2012」で入賞した作品を展示。第3弾は、天竜川流域に生える多様な木々のブロックで流域図を表現。木の種類によって変わるブロックの個性が、楽しいグラデーションを生み出している。川と森林、そして流域すべての生物の関わりを感じさせる作品。
※12/15～ 第4弾が展示開始。



タイトル/「Streams Of A River」
制作/小粥 千寿(浜松市在住)

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。

SUPPORTER's VIEW

イベントサポーターの楽しみ

第12期サポーター イベント業務担当 門馬 幸子

グランシップサポーターの活動を始めて四年目になります。コンサートや伝統芸能や舞踊などの公演で、お客様のご案内を務めているのが、私たちイベントサポーターです。お客様にも、演奏者にもストレスなく過ごしていただけるよう、活動中は気が張り詰めます。

でも、公演が終わり、客席からお帰りになるお客様の感想を最初に耳にするのもサポーターの役得。先日、県外からお越しの方から、ドリンクコーナーやホワイエが明るく広々としていて、さすが客船を思わせる雰囲気ですねと、ホールへのお褒めの言葉をいただきました。

JR東静岡駅南口の階段をグランシップに向かって下りると、目の前に凜とした富士山の姿が飛び込んできます。浜松に住む私の楽しみは、この清々しい富士山を眺めることです。県内外から時間をかけて到着したお客様をまずお迎えする富士山が一番美しく見える冬のシーズン、グランシップでの公演に足を運んでいたとき、私たちサポーターの活動にも目を向けていただけで嬉しかったです。



Report 058

READER'S VIEW

●いつも孫のバレエレッスンの送迎時に「G」を読ませてもらっています。妻と私の娯楽の対象です。今回の56号はなかなか読みがいがあり、今後グランシップや音楽館などを利用する際の参考にさせていただきます。

「ニッポン人は忠臣蔵がお好き」がとてもよかったです。
（静岡市・戸塚康彦さん）

●今年は007の公開から50年、ビーチボーイズのメジャーデビュー50周年、ビートルズのレコードデビュー50周年、ローリングストーンズ結成50周年など、50年という節目のものが多かったため、グランシップでも何か展示会のようなものを企画してほしいかと思っています。
（御前崎市・海と風さん）

●歌舞伎や新劇の公演が少ないと思います。四半期に1回程度開催して下さると嬉しいのですが、ご検討くだされば幸いです。
（浜松市・大草広兼さん）

●「はじめてオーケストラを聴く」がすごく勉強になりました。ラスベガスでやっている様なウエスタンミュージックが観てみたいです。
（富士宮市・玄馬さん）

●「G」は鑑賞前の予備学習のためにとても役立っています。初心者にもわかりやすい書きぶり、どなたが書いていらっしやるのかなあと読みながら読ませてもらっています。
（御前崎市・増田和枝さん）

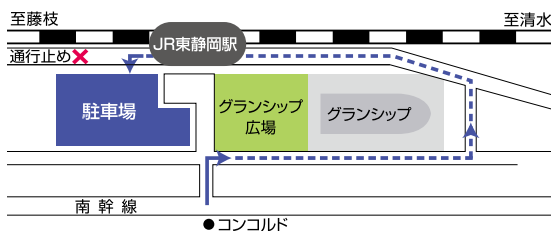
★「グランシップおよび本誌「G」に関する」意見、感想、お問い合わせなど、皆さまからのお便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

Editor's room.....

今年、日本の文化芸術振興にとって画期的な出来事がありました。それは、グランシップのような公立の文化施設が「誰のため」「何のため」の施設なのか明文化された法律が成立・公布されたと言うことです。長らく法隆寺の壁画焼失がきっかけで創られた「文化財保護法」しか文化に関する法律が存在しなかった日本に文化振興の大切さを謳った法律「文化芸術振興基本法」が成立したのは21世紀に入った平成13年11月、そして1年後に定められた「文化振興に関する第一次基本方針」の中で劇場、音楽堂等公共文化施設の法整備の必要性が叫ばれていました。でもこの10年一向に実現どころか積極的に進める状況ではありませんでした。ところがあの「事業仕分け」がきっかけとなり、「法整備を早急に具体的に取り組む」ことになり今年6月27日「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」として制定されたのです。この法律に基づいた「指針」は現在パブリックコメントが求められており、来年早々には定められる予定です。図書館に「図書館法」があり、専門家の司書が、美術館、博物館に「博物館法」があり、芸芸員が存在するように、劇場、音楽堂など公立の文化施設にも「根拠法」ができたのです。今後は、地域の病院や学校、福祉施設、美術館・博物館、図書館のように公立文化施設が地域の文化拠点になるような取り組みを実施してゆく専門家の配置と活躍が問われる時代になると考えています。

グランシップ館長 田村 孝子

グランシップにお越しの際は、
混雑緩和のため、
公共交通機関をご利用ください。



●ACCESS / JR東静岡駅南口隣接。東海道新幹線（ひかり）で東京から1時間。大阪から2時間。JR静岡駅乗換、東静岡駅まで3分。

手のひらに、明日をのせて。

NTT
docomo

感謝をこめて。

20th

大きな画面を指で
シュツシュツ! ってやるの。
やってみたかったんです。

息子より先に、
スマートフォン
デビューしちゃいました。

スマホなんだけどね、
中身は使い慣れた
らくらくホンみたいなの。



ゴールド ピンク ネイビー

docomo らくらくホンシリーズ

日本中の手のひらに、みんなが待っていた使いやすさを。

ドコモ らくらくスマートフォン

インターネットもお手ごろ料金の
パケット定額サービス

「らくらくパケ・ホーダイ」

【らくらくスマートフォン(F-12D)に関して】Google Play™からアプリケーションをダウンロードすることはできません。またGmail™など、Google社が提供するアプリケーションもご利用になれません。※商品写真および画像はイメージです。

お問い合わせ

ドコモの携帯電話からは局番なしの151(無料) 一般電話等からは ☎ 0120-800-000
◎番号をよくお確かめのうえ、おかけください。尚、一部のIP電話からは接続できない場合があります。

ドコモのホームページ www.nttdocomo.co.jp

※本広告は2012年10月25日現在のものです。



マナーもいっしょに
携帯しましょう。



モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PDAのリサイクルにご協力も。



3rd
を使用中

私たちは ついに、静岡ガスの ぽかぽかプランを 知ってしまった!!

ぽかぽかプランの
料金は、
灯油並みの低燃費!!



1,854円
18ℓ

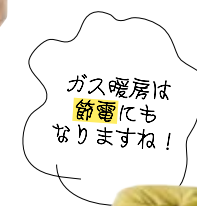
VS

1,757円
18ℓ

灯油 (石油情報センター、静岡県配達価格)
※灯油販売店により実勢価格は異なります。

都市ガス (都市ガス(天然ガス)の持つ熱量を灯油熱量に等価換算)
※「長時間使用量」部分の都市ガス価格です。
※別途基本料金(210円)がかかります。

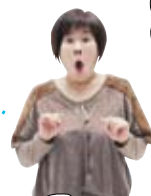
平成24年1月～6月の平均価格になります。



思ったより
「ガス栓は簡単に
設置」できる
みたいだよ!



とっても
カイテキ、
安心なんです!



ぽかぽかプランはガス暖房機器を
ご利用いただくお客さまのための
冬期(11月～4月)限定の割安プランです。



ガス暖房は、
パワフル＆
スピーディー!!
しかも、
給油の手間いらず!



やだもっと
早く言ってよ...

ぽかぽかプラン

検索

詳しくは、静岡ガス各支社または、
お近くのエネリアまでお問い合わせください。



ガス温水床暖房



浴室暖房乾燥機

をご使用のお客さまも、ぽかぽかプランをご契約いただけます。

くらしを考え、明日をつくる。

SHIZUGAS

静岡ガス

静岡支社 静岡市駿河区池田28
TEL.054-285-2111

富士支社 富士市荒田島町10-52
TEL.0545-52-2260

東部支社 沼津市岡一色809
TEL.055-927-2811



GRANSHIP
静岡県コンベンションアーツセンター

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者 財団法人静岡県文化財団 〒422-8005 静岡県静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5714 FAX.054-203-5716

<http://www.granship.or.jp>